

令和元年5月29日

四国電力株式会社
伊方発電所長 川西 徳幸 殿

伊方原子力規制事務所
統括原子力運転検査官 鶴園 和男

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成30年4月1日から平成31年3月31日に行われた、伊方発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

【総合所見】

事業者が当初計画した平成30年度の安全文化・組織風土劣化防止に係る取組事項は、発電所全体で実施され、社外への透明性の確保については安全協定に基づく通報連絡遅れ1件があったものの、地域への理解促進活動、協力会社を含めた社内での安全文化に関する活動の成果が確認でき「計画に基づいた取組が行われ、改善傾向が見られる。」と評価できる。

安全文化・組織風土の劣化兆候については、安全文化の劣化兆候を間接的に評価する項目について全て目標を達成しており、「改善傾向が見られる。但し自己満足することなく継続監視が望まれる。」と評価できる。

以 上